

「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール 優秀賞作品

☆ 小学生低学年の部



なかにし ちとせ さん

(和歌山市立高松小学校1年)

どうぶつえんのしいくいんさんです。どうぶつをしくしてゐるえです。たのしそうです。



はらみ こうせい さん

(和歌山市立高松小学校1年)

おとうさんとおかあさんとあかちゃんがつばめのこそだてをみているところ。



ほりえ もか さん

(有田市立保田小学校3年)

コロナできよりを離さないといけないけど、心のきよりは近づきよりそいたいと思ったのでかきました。

☆ 小学生高学年の部



にしかわ ひやて さん

(和歌山市立川永小学校5年)

男の子や女の子を絵の具でぬるのをがんばりました。はい景は、ぬるところが多いのでとっても時間がかかりました。男の子や女の子の服はカラフルにしてみました。



きたの いぶき さん

(和歌山大学教育学部附属小学校5年)

標語を見て、皆が好きな色の服を選んで着て、元気になれるように願いを込めて描きました。花と一緒にプレゼントしたいという想いも入れています。

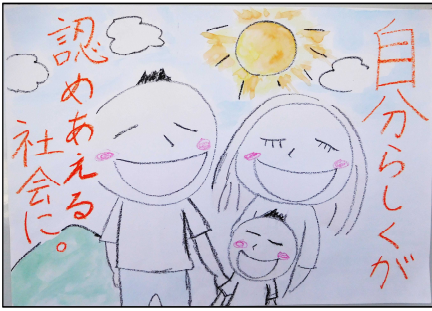


ほりえ ゆか さん

(有田市立保田小学校6年)

SNSの普及で、相手の気持ちを考えられないカップルもでてきたと思うので、少しでも相手の気持ちを考えられたら、楽しくなるのになと思ってかきました。

☆ 中学生の部



布川 彩葉 さん

(和歌山市立紀伊中学校1年)

自分らしく生きることは可能であっても、それをみんなが認め合い、尊重しあえる社会になることが私の願いです。



中 麻紘 さん

(田辺市立東陽中学校2年)

男性も女性も(それ以外の人も)みんなで助け合えば、笑顔が増えて、みんなが笑顔なら、自分も心から笑顔でいられるなという思いで描きました。



岡本 歩咲 さん

(和歌山市立貴志中学校3年)

仲間がいることを忘れないでほしいと思ってかきました。仲間の力は強いです。

☆ 高校生の部



つづみ さら さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

背景を白くして、人物にたくさん色を使い、目立たせました。明るい未来や男女のそれぞれの違いを意識して、全体的に赤と青のイメージにしました。色も彩度の高い色を使って、カラフルなイメージにし、「和歌山の未来はカラフルで明るい」という雰囲気にしました。



ほそかわ さくら さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

男女、年齢に関わらず、誰もが活躍できる、「笑顔」になれる社会になってほしいと思ってかきました。



もりかわ りん さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

あたり前に毎日一緒に過ごしている家族。そんな家族の温かさが社会全体に広がることで、男女差別もなく、お互いに支え合い、助け合い、分かり合い、明るい元気な未来をつくることのできるという思いをこの作品に込めました。パッとみた時、温かさってどんな温かさなのか、分かりやすく表現するため、家族の温かさを描きました。